

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010250

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 【平成30年度】 12,600千円 道路整備(オコツナイ川～ホソコツナイ川) L=80m、W=5.0m、歩道W=1.5m
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	(仮称)錦町海岸線道路整備事業					
事業期間	平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	整備延長					
事業目標	60m					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	10 建設水道課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	○道路整備 L=60m、W=5.0m ○実測調査設計 L=140m ○用地確定調査 L=140m		実測調査設計 L=140m 用地確定調査 L=140m			道路整備 (ホソコツナイ川～前浜線) L=60m、W=5.0m	
	事業費(千円)	14,500	0	4,000	0	0	10,500
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	14,500		4,000			10,500	
実績事業費	事業費(千円)	3,877	0	3,877	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	3,877		3,877				
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		実測調査設計外 L=140m			60m
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	97%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%
	全体達成率	0%	27%	27%	27%	27%	
	事業進捗状況		☆☆☆☆				

事業名	(仮称)錦町海岸線道路整備事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者	職氏名	土木管理係長	田原慎也

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	実測調査設計・用地確定調査延長	
【抱える課題やニーズは】	凹凸による通行障害。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	快適で安全な通行の確保。	① 実測調査設計・用地確定調査延長/実測調査設計・用地確定調査延長	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路利用者の快適で安全な通行の確保。	②	目標値	140 m
			実績値	140 m
			達成度	100.0 %
			目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による実測調査設計・用地確定調査の実施	入札により民間業者に測量業務を発注し、実測調査設計・用地確定調査を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本事業は、親水性をもった海岸緩傾斜護岸の改修に併せて通路(町有地)を町道として整備するものであり、来訪者の快適で安全な通行を確保するためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本年度は、道路整備を行うための調査設計と用地確定測量を実施したところであり、快適で安全な通行を確保するための業務を行うことができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	快適で安全な通行が確保されるための町道整備に必要な道路設計業務が実施されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	快適で安全な通行を確保するための道路整備に必要な道路設計業務が実施できたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町道として整備を行うことが目標であることから、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
快適で安全な通行の確保を図ることは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止